

# 平成20年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成20年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成20年度	
電気	8,145 (kw)	7,775 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,111.2 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	19,258 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	22,744 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,865 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,775 (kw)	0.555	4,315.1 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,111 (ℓ)	2.32	9,538 (kg-CO <sub>2</sub> )
合計			13,853.1 (kg-CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg-CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	19,258 (km)	0.00001	0.1926 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	22,744 (km)	0.000011	0.2502 (kg-CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,865 (km)	0.000015	0.1630 (kg-CH <sub>4</sub> )
合計			0.6058 (kg-CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.6058 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 12.7218 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg-N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	19,258 (km)	0.000022	0.4237 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	22,744 (km)	0.000022	0.5004 (kg-N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,865 (km)	0.000026	0.2825 (kg-N <sub>2</sub> O)
合計			1.2066 (kg-N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.2066 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 374.046 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$\begin{aligned} & 7 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.105 \text{ (kg-HFC)} \\ \text{ハイドロフルオロカーボン} & \text{排出量} \quad 0.105 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 136.5 \text{ (kg-CO}_2\text{)} \end{aligned}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成20年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	13,853.1	96.4%	101.6%
メタン	12.1	0.1%	12.7	0.1%	105.0%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	374.0	2.6%	106.4%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	136.5	0.9%	100.0%
合計	14,134.6		14,376.3		101.7%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成20年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,315.1	95.5%
ガソリン	9,114	9,538	104.7%
公用車の走行	500.1	523.3	104.6%
合計	14,134.6	14,376.4	101.7%

# 平成21年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成21年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成21年度	
電気	8,145 (kw)	7,714.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,013.1 (ℓ)	公用車
走行距離の 公共用車 軽貨物車 小型貨物車	軽乗用車	12,340 (km)	18,019 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	21,380 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,683 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,714 (kw)	0.555	4,281.3 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,013 (ℓ)	2.32	9,310 (kg-CO <sub>2</sub> )
合計			13,591.3 (kg-CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位: kg-CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	18,019 (km)	0.00001	0.1802 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	21,380 (km)	0.000011	0.2352 (kg-CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,683 (km)	0.000015	0.1602 (kg-CH <sub>4</sub> )
合計			0.5756 (kg-CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.5756 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 12.0876 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位: kg-N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	18,019 (km)	0.000022	0.3964 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	21,380 (km)	0.000022	0.4704 (kg-N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,683 (km)	0.000026	0.2778 (kg-N <sub>2</sub> O)
合計			1.1446 (kg-N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.1446 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 354.826 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$\begin{aligned} & 7 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.105 \text{ (kg-HFC)} \\ \text{ハイドロフルオロカーボン} & \text{排出量} \quad 0.105 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 136.5 \text{ (kg-CO}_2\text{)} \end{aligned}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成21年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	13,591.3	96.4%	99.7%
メタン	12.1	0.1%	12.1	0.1%	100.0%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	354.8	2.5%	100.9%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	136.5	1.0%	100.0%
合計	14,134.6		14,094.7		99.7%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成21年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,281.3	94.7%
ガソリン	9,114	9,310	102.2%
公用車の走行	500.1	503.4	100.7%
合計	14,134.6	14,094.7	99.7%

# 平成22年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成22年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成22年度	
電気	8,145 (kw)	7,996.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,248.9 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	20,343 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	22,656 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,394 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,996 (kw)	0.555	4,437.8 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,249 (ℓ)	2.32	9,857 (kg-CO <sub>2</sub> )
合計			14,294.8 (kg-CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg-CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	20,343 (km)	0.000010	0.2034 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	22,656 (km)	0.000011	0.2492 (kg-CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,394 (km)	0.000015	0.1559 (kg-CH <sub>4</sub> )
合計			0.6085 (kg-CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.6085 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 12.7785 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg-N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	20,343 (km)	0.000022	0.4475 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	22,656 (km)	0.000022	0.4984 (kg-N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,394 (km)	0.000026	0.2702 (kg-N <sub>2</sub> O)
合計			1.2161 (kg-N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.2161 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 376.991 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$\begin{aligned} & 7 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.105 \text{ (kg-HFC)} \\ \text{ハイドロフルオロカーボン} & \text{排出量} \quad 0.105 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 136.5 \text{ (kg-CO}_2\text{)} \end{aligned}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成22年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	14,294.8	96.5%	104.8%
メタン	12.1	0.1%	12.8	0.1%	105.8%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	377.0	2.5%	107.3%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	136.5	0.9%	100.0%
合計	14,134.6		14,821.1		104.9%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成22年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,437.8	98.2%
ガソリン	9,114.0	9,857.0	108.2%
公用車の走行	500.1	526.3	105.2%
合計	14,134.6	14,821.1	104.9%